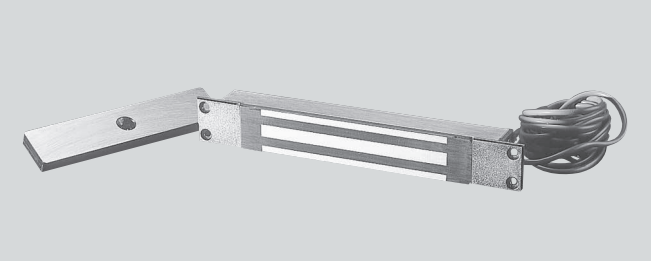
MAGNALOCK®
SECURITRON
ASSA ABLOY

電磁石式電気錠　埋込式マグナロック M34R 型 屋外対応タイプ 施工説明書

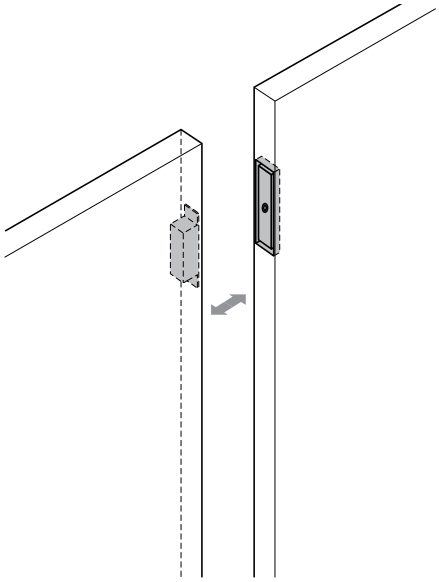
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。



- 本製品について…… P.1
- 仕様 …… P.1
- 部品一覧 …… P.1
- 取付場所の条件 …… P.2
- 本体とストライクプレートの位置ずれ許容差 …… P.2
- 取付場所の準備・加工…… P.3
- 施工手順 …… P.5
- 配線のしかた…… P.6
- 推奨するシステム構成…… P.8
- 困ったときの対応…… P.8
- お手入れ方法 …… P.8

本製品について

・引戸用に開発された埋込取付タイプの電子錠です。
・本体を縦枠に、ストライクプレートを扉の小口面に取り付けます。
・開き戸に使うこともできます（P.2「取付場所の条件」参照）。
・B機能（ボンドセンサー）付きタイプ（品番：M34R-BM）は、ストライクプレートの吸着、非吸着（施解錠状態）をモニターできます。



扉側部小口面に取り付けた場合

仕 様

品番	M34R-M	M34R-BM
吸着力	2225 N（227 kgf）	
電圧	DC12V ／ 24V $^{+10\%}_{-5\%}$	
電流	320 mA（DC 12V 時） 170 mA（DC 24V 時）	
吸着感知 B 機能	なし	付き 出力接点容量： DC30V 1A まで
使用温度範囲	−40 ～ +60℃	

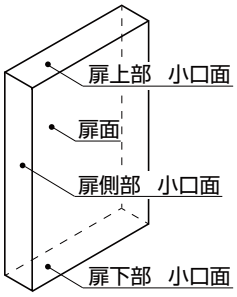
部品一覧

			数量
①	本体	266.7 × 38.1 × 28.6	1
②	ストライクプレート	161.9 × 36.5 × 12.7	1
③	化粧ナット	φ 9.5 × 27.5 × M6 （有効ねじ深さ 17mm）	2
④	取付ブッシュ	フランジ径φ 12 × 10	1
⑤	回転止めピンブッシュ	φ 12.7 × 20.8	2
⑥	ゴム座金	φ 25.4 × 3.2	3
⑦	ブラケット A	36.9 × 36.9	2

			数量
⑧	スペーサー	35.6 × 12.7 × 1.6	4
⑨	ブラケット B	38.1 × 38.1 × 19.1	1
⑩	六角穴付皿ボルト	M6 × 40	3
⑪	十字穴付皿小ねじ	M5 × 10	10
⑫	十字穴付皿タッピンねじ	5 × 19	4
⑬	回転止めピン	φ 6.5 × 32	2
⑭	ねじ緩み止め	嫌気性ではない	1
⑮	テンプレート（紙製・英文）	原寸大の紙	2

取付場所の条件

●取付位置



開き戸			引戸	
扉上部・下部 小口面	扉側部 小口面（縦面）	扉面	扉上部・下部 小口面	扉側部 小口面（縦面）
×	×	○	×	○

●本体は必ず扉枠に取り付けてください。

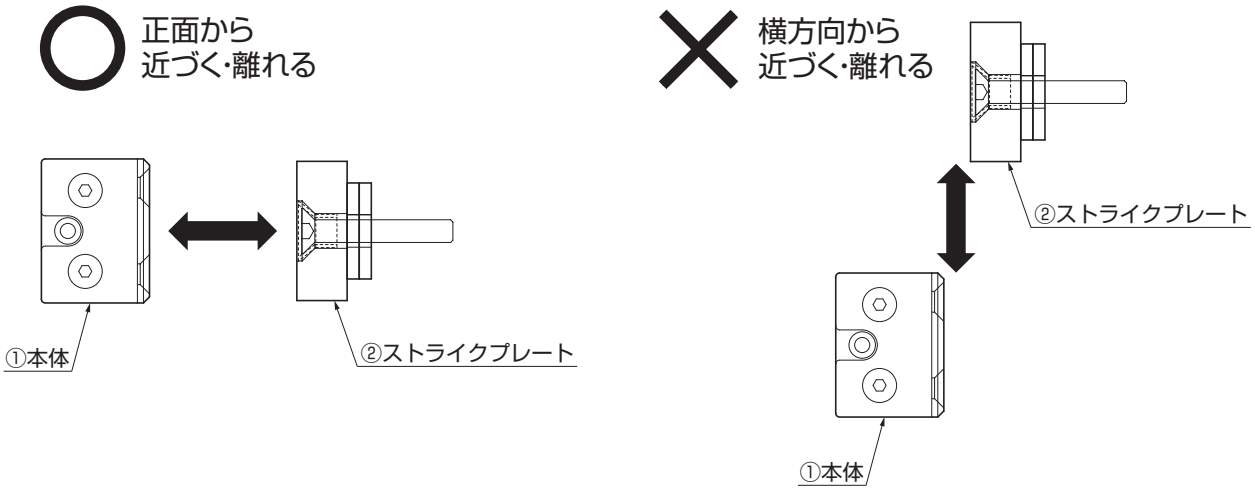
●取付場所はマグナロックの吸着力以上の強度を持っていることを確認してください。

●配線は外部からの破壊行為を防げる場所に設置するよう考慮してください。

●戸当りの代わりにはなりませんので扉を閉める際、衝撃や過大な圧力をかけないでください。

●引戸のほか開き戸にも取り付けできますが、扉の動きと本体・ストライクプレートの位置関係に注意してください。

〈本体・ストライクプレートの位置関係〉

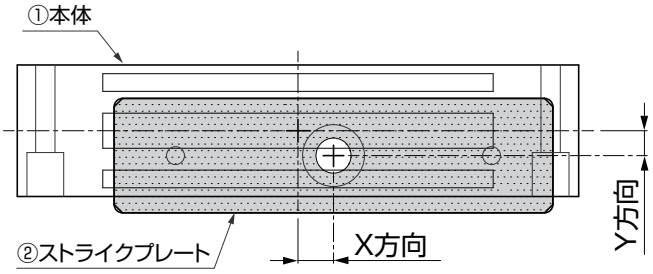


本体とストライクプレートの位置ずれ許容誤差

本体①とストライクプレート②がお互い真正面で接するようにしてください。

本体①とストライクプレート②の位置ずれが下記許容範囲を越えると、接しても本来の吸着力は出ず、B感知機能は「未吸着（解錠）」出力のままになります。

取り付けた場所そのもの（扉の建付け）が経年変化でずれることがありますので、定期的に確認をしてください。



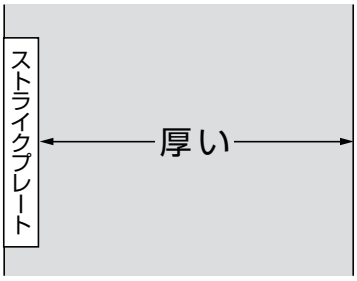
感知機能を維持できる許容誤差

品　番	X方向	Y方向
M34R－BM	± 4 以下	± 2 以下

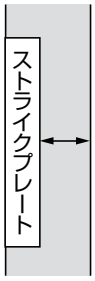
取付場所の準備・加工

1 木扉の場合

ストライクプレート取付場所後方の扉厚を確認する。



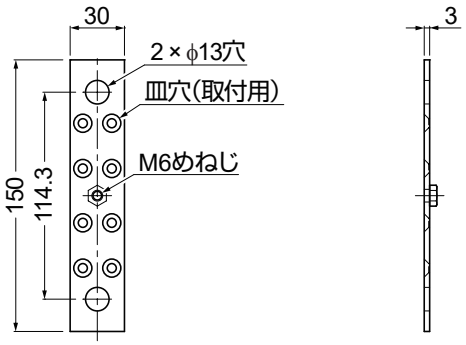
例 1



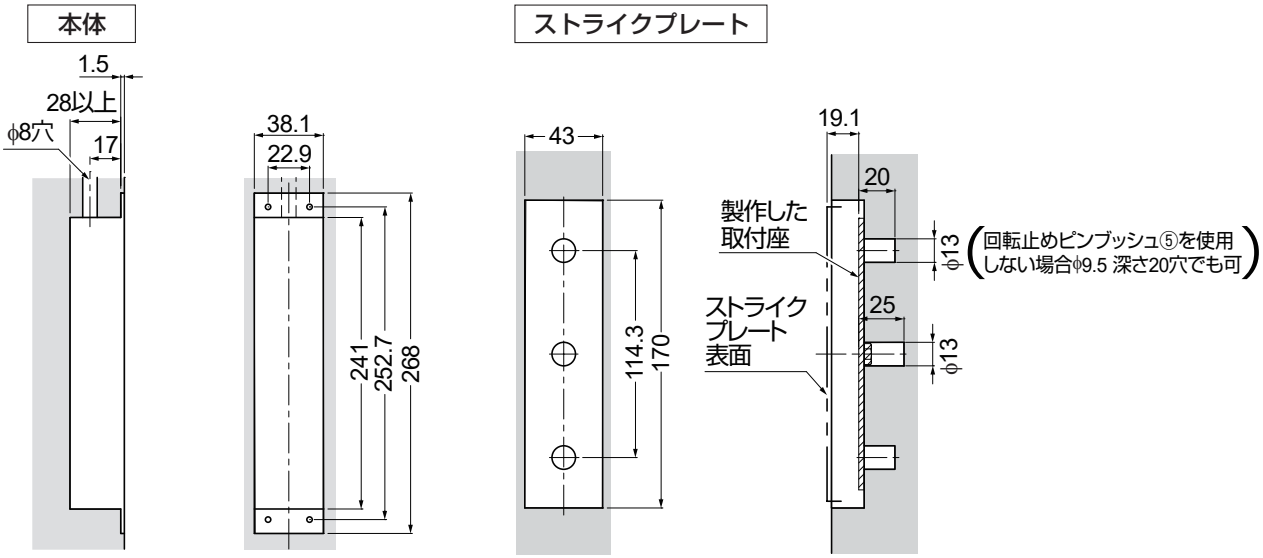
例 2

例 1

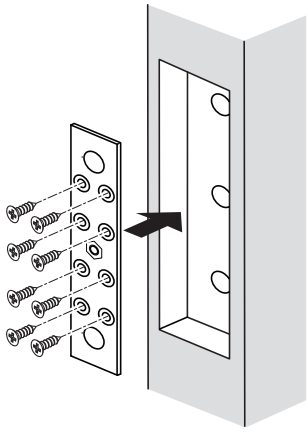
【1】ストライクプレート①の取付座を作る。



【2】テンプレート⑮を参考に掘込加工をする。

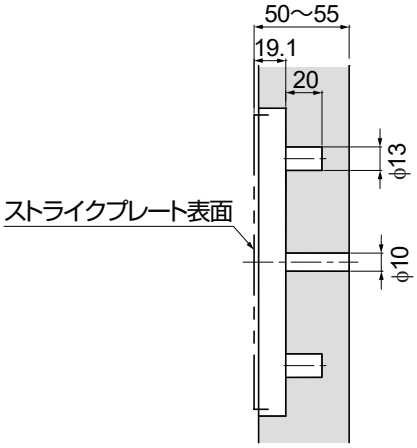


【3】【1】で製作した取付座を取り付ける。



例 2

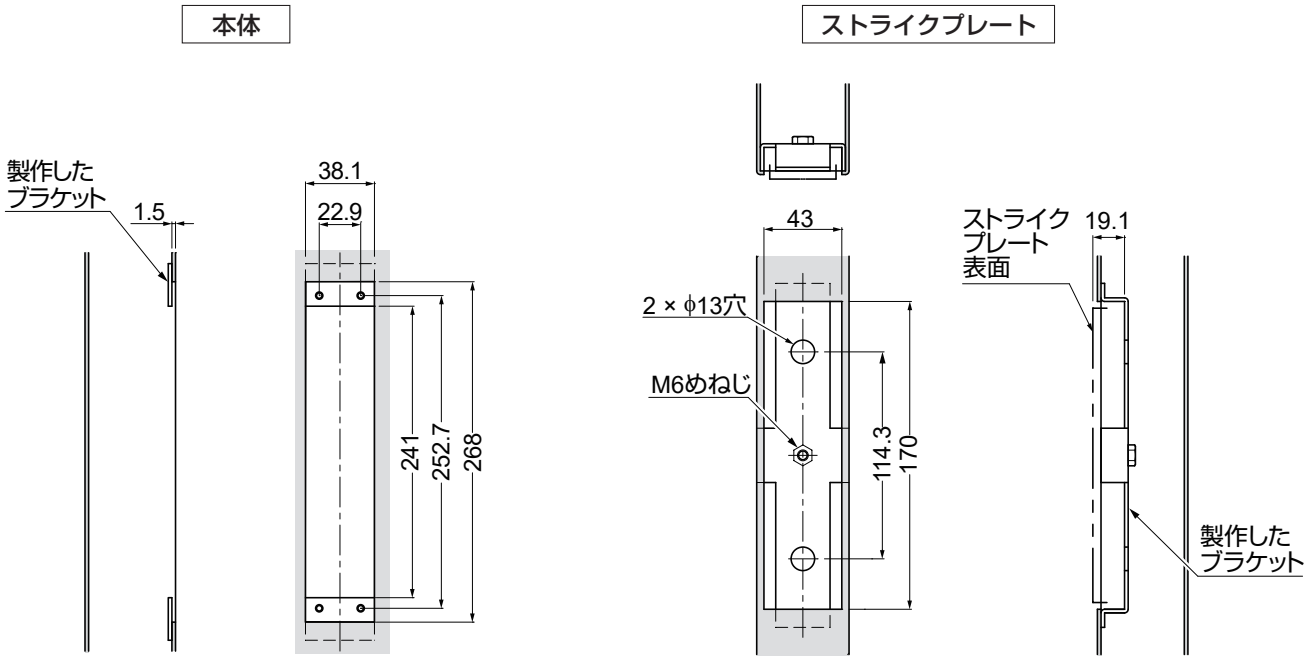
テンプレート⑮を参考に掘込加工をする。



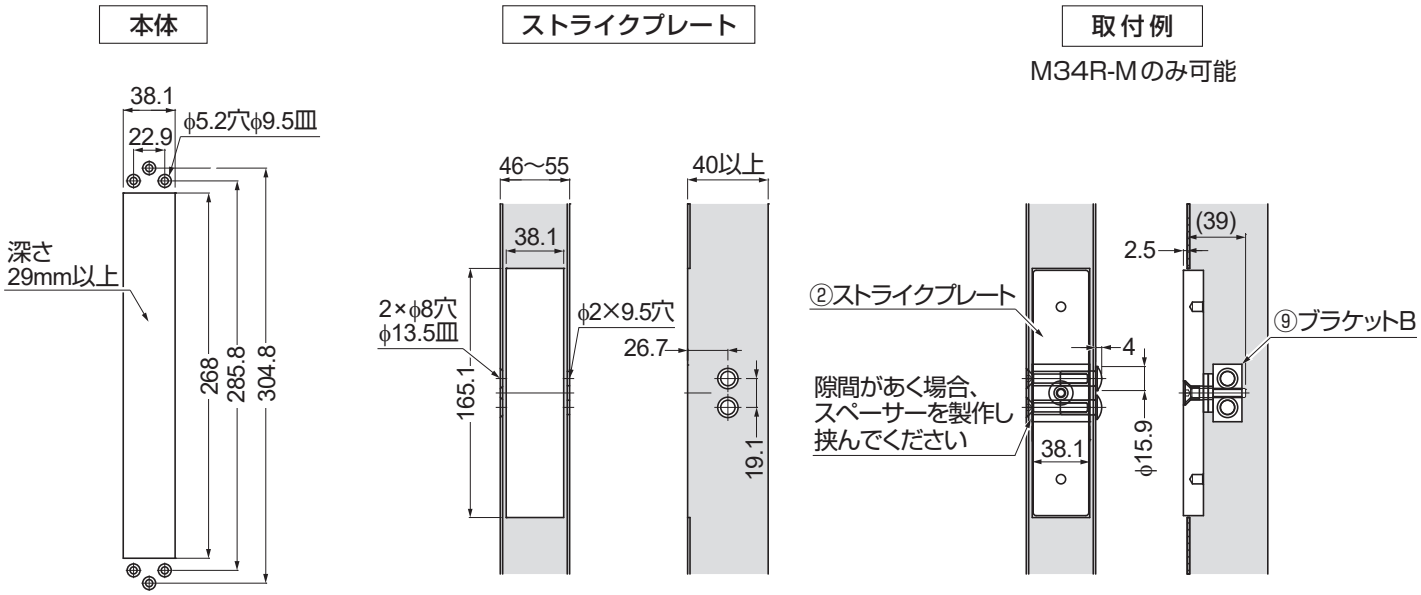
2 金属扉の場合

本体の電線を通す経路を確認し穴をあける。

例 1 ブラケットを製作して取り付ける



例 2 付属のブラケットA⑦を使用して取り付ける



SUGATSUNE

施工手順

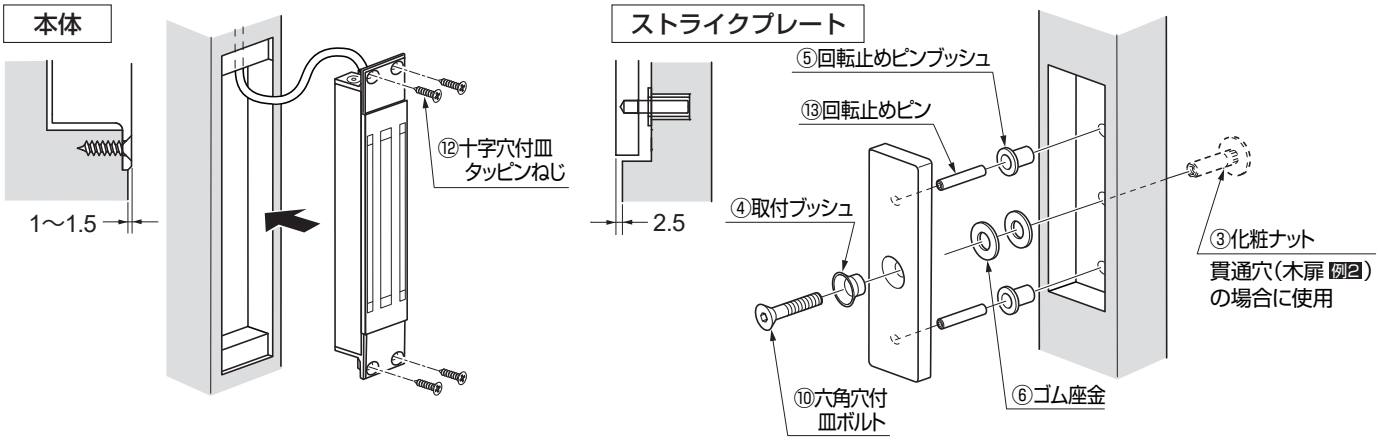
⚠注意

- マグナロック本体①とストライクプレート②がお互い真正面で接するよう、取り付けてください。B機能付きタイプは特に注意が必要です(P.2「本体とストライクプレートの位置ずれ許容誤差」参照)。
- 取付ブッシュ④は漏電を防ぐ絶縁用です。必ず取り付けてください。
- 回転止めピンブッシュ⑤は漏電を防ぐ絶縁用です。回転止めピン⑬を使用する場合は必ず取り付けてください。
- ゴム座金⑥はストライクプレート②に柔軟性を持たせ、本体①との吸着をよくします。また、扉の経年変化による吸着力の低下を防ぐので、必ず取り付けてください。
- ねじ止めの際には、ねじ緩み止め⑭を塗布してください（ねじ緩み止め⑭は嫌気性ではありません。塗布後10～30分、乾燥させてからねじ込んでください）。※木部には使用できません。

1 木扉・金属扉共通

●本体表面が取付面より1～1.5 mm程度出るようにします。出ない場合は、スペーサー⑧またはそれに類似したものを本体座と取付箇所の間に挟み、調整してください。

●本体表面が出ることにより扉自体が閉まり切らなくなる場合、ストライクプレート側の周辺を窪ませて逃がす、もしくは戸当り側に段差をつけて戸先を隠すなどしてください。

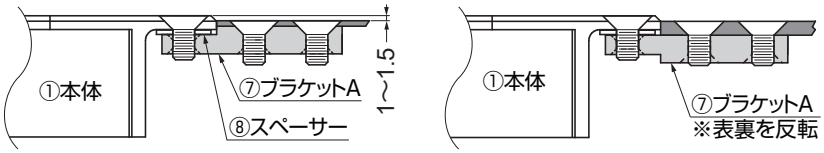


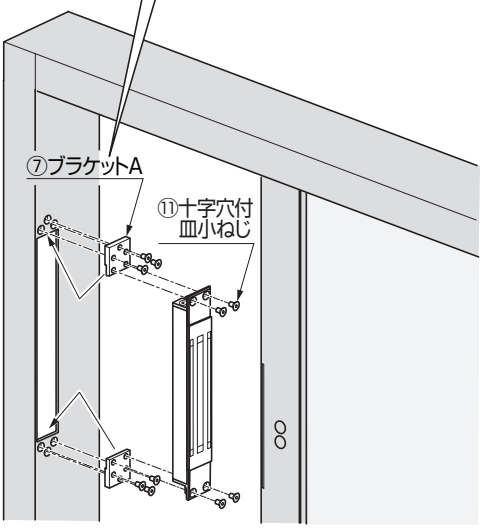
2 金属扉の場合（別例）

本体

●ブラケットA⑦を使って本体をねじ止めする場合、ブラケットA⑦を扉枠表面にねじ止めしてから本体を取り付けてください。

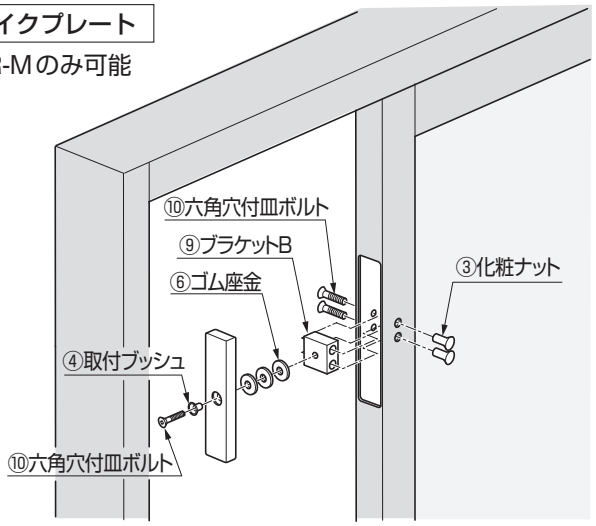
●ブラケットA⑦を表裏反転させて段差を利用したり、スペーサー⑧を挟むなどして調整してください。





ストライクプレート

M34R-Mのみ可能



配線のしかた

1.電気仕様

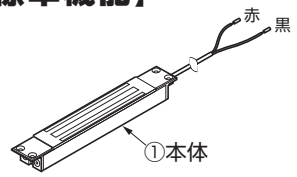
⚠注意

⚠ 本製品の入力電圧は、DC12 V/ DC 24 Vで、-5% ～ +10%の範囲で使用できます。DC12 VかDC 24 Vかを自動で検出でき、どちらの電圧にも対応します。

⚠ 極性を逆に接続すると機能しません。間違えないように確実に接続してください。

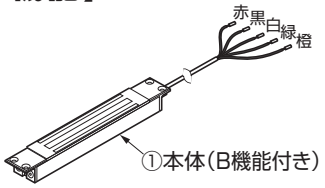
⚠ 赤の線は＋DC12VまたはDC24Vを受け、黒の線は0V（マイナス）です。

【標準機能】



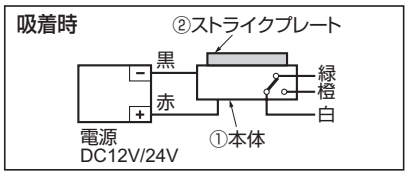
赤/ ＋側 DC 12 V - 24 V
黒/ －側 DC 12 V - 24 V

【B 機能】吸着・未吸着状態感知機能／無電圧 C 接点出力

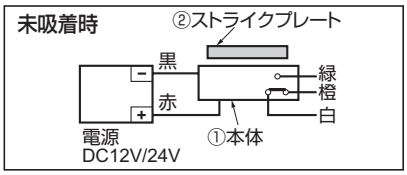


赤/ ＋側 DC 12 V - 24 V
黒/ －側 DC 12 V - 24 V
白/ リレー COM
緑/ リレー NO
橙/ リレー NC
} B機能

●マグナロックの吸着･未吸着を確認できる無電圧C接点を内蔵してます。
●出力接点容量: DC30V 1A



マグナロックが作動していて、扉を確実に吸着しているとき、上図のように内部スイッチが緑側に閉じます(白と緑が導通になります)。



扉のロックが確実でないとき、また、扉が閉まっていてもマグナロックが作動していないとき、内部スイッチが橙側に閉じます（白と橙が導通になります)。

2.指紋照合機、テンキー、カードキーなどで直接制御する場合

・マグナロックは通電時施錠型のため、施錠中は常時電力供給が必要です。電力供給を断つと解錠します。
・照合出力が有電圧（DC12V ／ DC24V）B 接点：出力端子 (+) をマグナロックの赤線に、出力端子 (－) をマグナロックの黒線に結線します。
・照合出力が無電圧 B 接点：DC12V ／ DC24V の電源 (+) をマグナロックの赤線に、電源 (－) をマグナロックの黒線につなぎ、電源 (+) とマグナロックの赤線との間に照合出力の無電圧 B 接点を組み入れます。
・照合出力が無電圧・有電圧にかかわらず A 接点：リレーで B 接点に変換し、その接点を組み入れます。
・照合出力は解錠時間が設定できる (一定時間後復帰する) タイプにしてください。
・マグナロックへの電源スイッチは、プラス側に設置してください。
・弊社のテンキー DK-26 との結線については、DK-26 に付属している説明書を参照してください。

3.消磁回路(オプション)との結線

使用する制御盤やスイッチによっては、電源 OFF 後、本体とストライクプレートの間に少量の残留磁気が発生する場合があります。消磁回路は、その残留磁気を消失させる部品です。

※消磁回路を取り付けなくても、通電時施錠型のため、災害などで電源が OFF になれば解錠となり、扉の開放が可能です。その際、少量の残留磁気により、少し扉が重く感じる場合がありますが、使用上問題ありません。

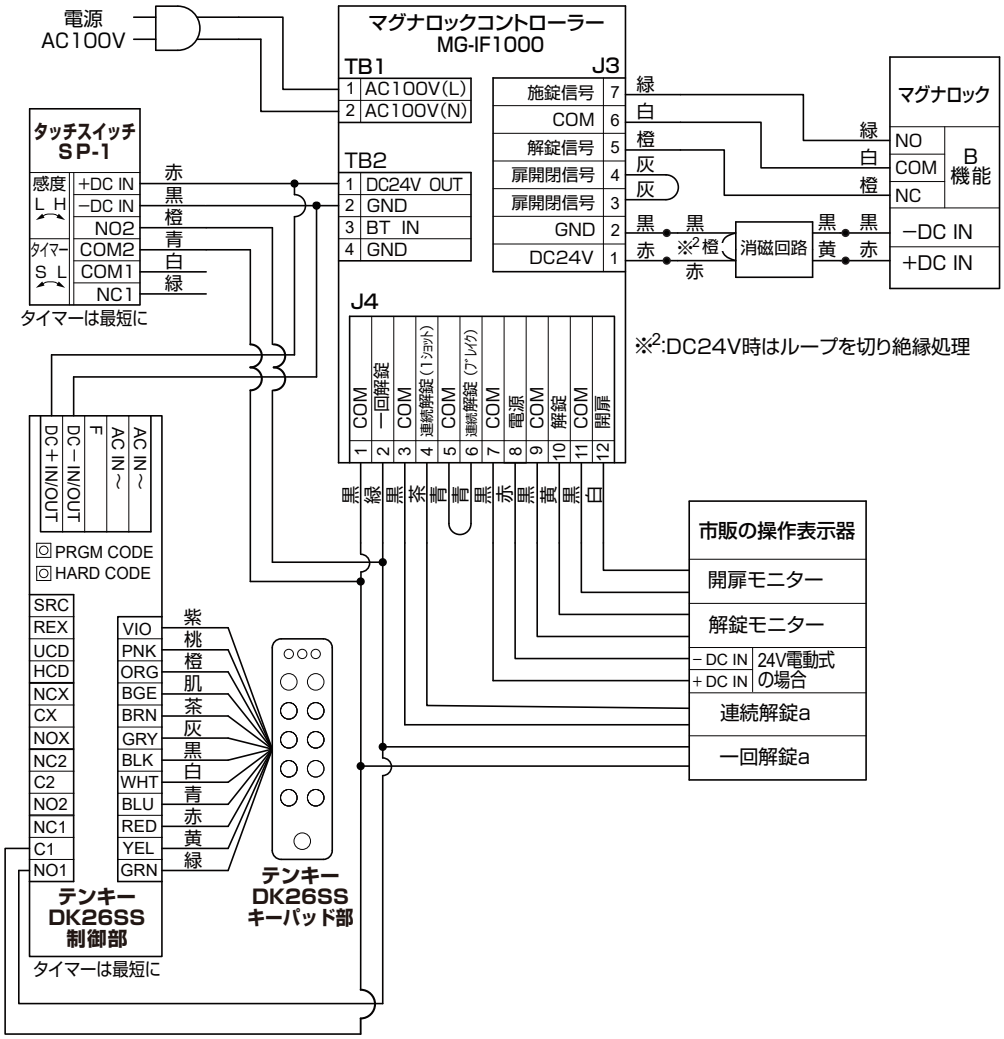
※1 24 V で使用する場合はループを切り、端部を絶縁テープなどで処理をしてください。

4.緊急解除

緊急時は手動または火災報知システムにより解除できるよう、マグナロックを配線する必要があります。弊社では確実に解除するために、電源を遮断することをお勧めします。

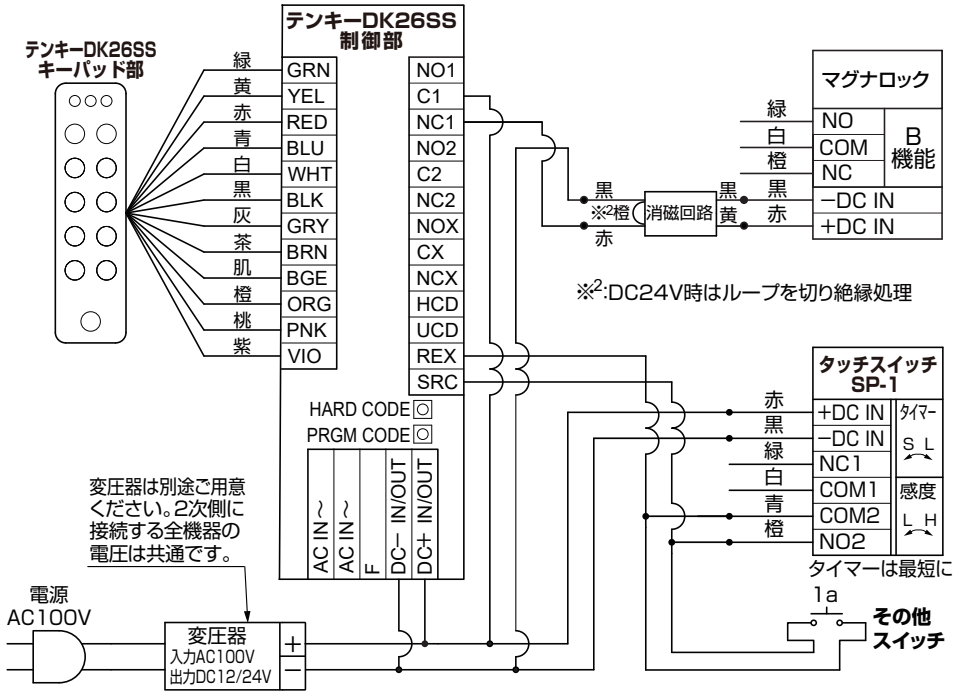
5.結線例

■マグナロックをIFコントローラー MG-IF-1000(オプション)で制御する例

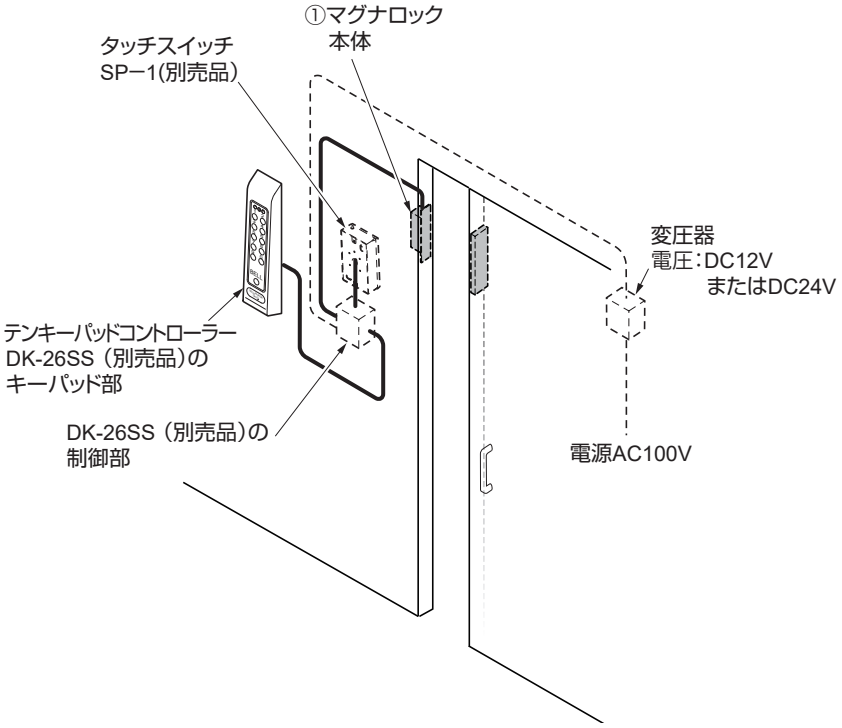


■マグナロックをテンキーパッドコントローラー DK-26SS(オプション)で制御する例

※下記組合わせの場合、B機能付きのマグナロックを使用してもそれらを利用する機構が無いため、標準機能のマグナロックと同じ接続・使い方となります。



推奨するシステム構成



困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法	参照
ストライクプレートがマグナロック本体に… 吸着しない または 吸着力が弱い	マグナロック本体とストライクプレートがお互い真正面で接していますか。 一見、扉が閉まっていても、ストライクプレートが本体に届いていなかったり、点接触・線接触になっていたら、吸着力はほぼゼロとなります。 目視で判別できない場合、ストライクプレートを外し、本体が「施錠」状態でストライクプレートを近づけてください。力強く吸着した場合、真正面で接していなかったということになります。	ストライクプレートを付け直してください。 再度、取り付ける際、ストライクプレートが本体に届くよう、ストライクプレート中央のボルトを１～２回、緩めてください。	P.5
	ストライクプレートと扉の間に、付属のゴム座金⑥を取り付けていますか。	ゴム座金⑥を取り付けてください。 マグナロック本体とストライクプレートの吸着をよくします。	P.5
	電源容量が不足していませんか。	電源容量が不足している場合は、出力容量と必要な電源容量を確認してください。 容量は消費量の２倍以上が目安です。	P.1
	本体とストライクプレートの位置ずれが、許容誤差を超えていませんか。	本体とストライクプレートの位置ずれを許容誤差内にしてください。	P.2
吸着するが、すぐに解錠してしまう	同上	同上	P.2
B 機能が作動しない	同上	同上	P.2

お手入れ方法

・吸着面は、シリコンベースのクリーナーを使用するか、潤滑剤を布に付けて軽く拭いてください。

・経年変化で扉の建付けがずれ、吸着力が落ちることがあります。吊元の丁番のねじがゆるんでいないかなど、定期的に確認をしてください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
TEL:03-3864-1122(代)　平日9:00～17:30
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2024.02 0611-10j